

カエル学習のポイント

カエルを題材として、自然の仕組みや人と自然の共存を学習するためには、適切な『問いかけ』が必要となります。ここでは、博物館に来館された学校団体や観察会のときに着目する視点をいくつか挙げてみました。ぜひ、考えてみてください（ヒントは、ホームページにあります）。

- Q1) カエルの足の先（指）には、吸盤がある種類とない種類があります。この違いは、カエルの生活に大きな影響を及ぼしています。特に、田んぼに生息するトノサマガエルが減っている原因とも関連します。どんな影響や利点があるのかを考えてみてください。
- Q2) カエルの鳴き声は、種類によって異なる上に、時期も異なります。どうしてなのでしょう？（田んぼが近くにある学校の総合学習に最適）
- Q3) たくさんの種類のカエルが共存して暮らすためには、どんなことが必要なのでしょう？あるいは、たくさんの種類のカエルが住んでいる場所はどんな場所なのでしょう？
- Q4) 日本には外国からきて繁殖・定着している種類が1種類だけいます。このカエルの名前はなんなのでしょう？このカエルは生態系に大きなマイナスの影響をもたらします。それは、どんな影響なのでしょう？
- Q5) 田んぼの近所にある森林が伐採されて、住宅地や道路として開発されてしまうと、カエルの種類によっては、数が著しく減少してしまいます。それはどうしてなのでしょう？
- Q6) 最近では、田植えや水入れをゴールデンウィーク（5月最初）に行い、冬に水を無くしてしまうことが多いようですが、そうすることで、カエルにはどんな影響が起こるのでしょうか？また、カエルだけでなく、水田農業をするときの利点と欠点もあります。これについても考えてみてください。
- Q7) カエルは地球温暖化、熱帯雨林の伐採、農薬散布やオゾン層の破壊といった環境問題の影響を最も受けやすい生物だと考えられています。それはどうしてなのでしょう？課題ごとに考えてみて下さい。
- Q8) カエルは田んぼの生物だという印象がありますが、人間が水田を作る前は、一体カエル達はどこで暮らしていたのでしょうか？